

検体検査（採尿・その他）

検査名称		基準値	説明	
尿検査	尿定性		化学的に尿中に含まれる物質を検出しています。	
	尿比重	1.006-1.030	腎臓での尿の濃縮や希釈の能力を知ること で、腎臓の機能に異常がないかの指標とな ります。	
	尿PH	pH6付近	尿が酸性かアルカリ性かを調べます。健康 な人でも食べ物や運動、呼吸などで変動し ます。	
	PRO (尿蛋白)	(-)	腎臓や尿路系に障害があると陽性(+)に なります。健康な人でも陽性となる場合が あります。	
	GLU (尿糖)	(-)	血糖値が一定限界を超えると陽性(+)に なります。	
	KET (尿ケトン体)	(-)	糖代謝異常の目安となります。	
	BLD (尿潜血反応)	(-)	腎臓や尿路系に障害があると、赤血球が出 現し潜血反応が陽性(+)になります。	
	URO (尿ウロビリノーゲン)	(±)	肝臓や胆道の障害の有無を調べる検査です。 健康な人でもわずかに出ています。	
	BIL (尿ビリルビン)	(-)	胆汁の排泄が障害されると陽性(+)にな ります。	
	WBC (尿白血球反応)	(-)	尿路系に炎症があると陽性(+)になりま す。	
	NIT (尿亜硝酸塩)	(-)	尿路系に細菌が増殖している場合、陽性 (+)になることがあります。	
	尿沈渣（フローサイトメトリー法）			機械により尿に含まれる細胞などを数える 検査です。
	RBC (赤血球)	5 個未満/HPF	腎臓や尿路系に障害があると、赤血球が増 加します。	
	WBC (白血球)	5 個未満/HPF	尿路系に炎症があると白血球が増加します。	
	EC (上皮細胞)	※3	尿路系の炎症などで多くみられます。	
	CAST (円柱)	※3	蛋白質が固まった物質で、尿の流れが腎臓 で停滞したことを示唆します。	
	BACT (細菌)	※3	尿路の感染症で増加します。	
	尿沈渣（鏡検法）			尿に含まれる成分を顕微鏡でみる検査です。 細胞などの種類や数をみています。
	尿蛋白定量（新鮮尿） 尿蛋白定量（畜尿）	0-15 mg/dL	腎疾患の診断や治療効果を判定するのに役 立ちます。	
	尿中アルブミン アルブミン指数	30 mg/g・CRE未満	腎糸球体障害の指標となり、糖尿病性腎症 の早期発見に役立ちます。	
HCG（尿）	※2	妊娠し受精卵が発育すると大量に分泌され ます。妊娠の診断と経過観察、流産や子宮 外妊娠の補助診断などに用いられます。		
浸透圧（尿）	50-1300 mOsm/Kg H <sub>2</sub> O	腎臓における尿の濃縮・希釈能をみていま す。 水分摂取量や運動量、季節などにより大き く変動します。		
便	便ヘモ (便ヒトヘモグロビン)	(-) 100 ng/mL未満	大腸などの消化管の出血を見つける検査で す。大腸がん、痔、ポリープなどで陽性 (+)となる場合があります。	
髄液	リコール一般 (髄液検査)		脳脊髄液の性状を調べる検査で、その中に 含まれる細胞の数や、タンパク質、糖の濃 度を調べます。脳脊髄液1μL中に細胞が6 個以上になると脳や髄膜になんらかの障害 が起こっている可能性があります。主に髄 膜炎、脳炎、ギランバレー症候群などの診 断に用います。	
<p>※3）上皮は、女性の場合、外陰部や膣部から混入することがありますが、健常人ではほとんどみられません。 細菌も同様に、健常人ではほとんどみられません、外尿道口や膣部から混入することがあります。 円柱には、いろいろな種類があります。硝子円柱と呼ばれるものは、激しい運動後などには、健常人でもみられる ことがあります。病的とされる赤血球円柱や顆粒円柱などは、顕微鏡で観察し分類します。</p>				